高砂部屋新聞
TAKASAGO SHINBUN

日刊スポーツ新聞社
東京都中央区築地3の5の10
〒104-8055 電話 03-5550-8888

2022年（令和4年） 4月25日 月曜日 先負 第5号

©日刊スポーツ新聞社 2022

勝ち越し12人中30歳超5人 身も心もまだまだ若い！

タカサゴ 40歳朝天舞初V へ夏「全力」 高砂いぶし銀奮闘

三段目 4勝3敗
● VS琴ノ藤 七日目、琴ノ藤（左）を突き落として破る朝天舞

切磋琢磨 ベテラン7力士ここにあり

● VS大野城

● VS諒鬼馬

● VS闘王

33歳朝弁慶 31歳朝興貴 35歳朝乃丈

● VS東山

40歳神山

● VS千代青梅

● VS鶴ノ海

40歳朝乃土佐 32歳朝ノ島

若手に負けじとベテラン勢が奮闘した。3月27日に幕を閉じた大相撲春場所で、24人中12人が勝ち越しを果たした。その勝ち越した12人中、三段目の朝天舞（40）をはじめ、30歳越えの力士らは5人。学生出身や若手が成長を見せる中で、いぶし銀のごとく、ベテラン力士も存在感を示す。

41歳「十両を」

5月に41歳の誕生日を迎える朝天舞は言う。「ただ41歳になるだけ。もう1回上に行ってやろうと。最高位を更新して、さらにその上の十両を狙う」。静かな口調ながらも、胸の中には闘志が熱く燃えている。

00年春場所で初土俵を踏んで22年がたった。最高位は13年秋場所での西幕下8枚目と、十両の座も狙える位置までいったことはあるが当時は届かなかった。1メートル71センチ、120キロと決して大柄ではないが、立ち合いで頭から激しくぶつかる思い切りのいい相撲が武器。「ここ最近は、首や目にガタがきている」と話すも、「稽古はやみくもにやっては駄目。本場所ではもちろん頭からいくけど、稽古場では胸から当たって感触を確かめたり」と積み重ねてきた経験をいかす。

若手を意識

他の部屋に比べると、部屋には30歳を超える力士が多い。十両経験者の朝弁慶（33）や朝興貴（31）、朝乃丈（35）、神山（40）、朝乃土佐（40）に朝ノ島（32）。自身も含めて7人いる。名門高砂部屋には毎年多くの新弟子が入門するが、ベテラン勢もいきいきしている。朝天舞は「若手への意識はありますね。新弟子への意識だったり。モチベーションになります」と若手の台頭を歓迎。稽古場では率先して、申し合い稽古で名乗りを上げるなど精力的だ。

だが、誰しもにいつかは訪れる去り際の時。朝天舞は、期間は設けていない。急にやる気がなくなってしまう時があるかもしれないけど、気力がある限りは全力でやるだけ」と、まだまだ土俵に上がり続ける意欲を見せた。大相撲夏場所（5月8日初日、東京・両国国技館）の目標は「できれば優勝してみたい」と自身初の各段優勝を掲げた。まずは20年春場所以来の幕下復帰を目指し、各段優勝、そして関取の座へ向かって突き進む。

朝乃若 関取昇進後初 負け越し

十両朝乃若（26）は、関取昇進後初めての負け越しを喫するなど、悔しい場所となった。昨年12月の九州場所で新十両昇進を果たし、2場所連続で勝ち越し。東十両4枚目と自身初の十両上位で臨んだが、初日から3連敗。4日目に初白星を挙げるも、5日目から再び3連敗と苦しんだ。「初めての上位で、対戦相手の体の大きさや圧力が想像以上だった。自分の立ち合いができなかった」と反省。

大翔丸（右）を破る朝乃若

「自分のペースで相撲を取れるようになりたい。いつも腰が高いので低く押し込めるようになりたい」と課題を口にした。

2年ぶりの大阪開催となった春場所。「久しぶりにいい空気が吸えました」と刺激的だった。外出緩和期間中には、部屋関係者らと食事をする機会もあったといい、いいリフレッシュになった。結果は5勝10敗だったが、勝負はこれから。「まずは勝ち越しを目指して、その後は2桁を狙いたい。1日1日いい相撲を取れるようにしたい」と夏場所への意気込みを語った。

春爛漫 白星満開 充実の大阪

はじめ、30歳越えの力士らは5人。学生出身や若手が成長を見せる中で、いぶし銀のごとく、ベテラン力士も存在感を示す。

◆力士の春場所の成績◆

番付	力士名	成績
東十両4枚目	朝乃若	5-10
西幕下2枚目	朝乃山	全休
東幕下5枚目	深井	3-4
東幕下10枚目	朝志雄	全休
西幕下10枚目	朝玉勢	4-3
西幕下14枚目	長鋒	4-3
東幕下24枚目	朝弁慶	3-4
東幕下51枚目	右崎	4-3
西幕下55枚目	朝黒龍	4-3
西三段目23枚目	朝天舞	4-3
西三段目30枚目	朝阪神	1-6
東三段目68枚目	朝乃丈	4-3
西三段目75枚目	朝虎牙	2-5
東三段目79枚目	朝翔	4-3
西三段目96枚目	朝大洞	2-5
西序二段4枚目	朝心誠	4-3
東序二段7枚目	朝東雷	1-6
西序二段8枚目	朝走雷	1-6
西序二段9枚目	朝氣龍	5-2
西序二段53枚目	朝竜子	4-3
西序二段55枚目	神山	2-5
東序二段65枚目	朝勝令	2-5
西序二段79枚目	朝乃土佐	5-2
西序二段89枚目	朝ノ島	5-2

必赤字の力士は30歳以上、黄アミは勝ち越し

朝乃若 関取昇進後初 負け越し

十両朝乃若（26）は、関取昇進後初めての負け越しを喫するなど、悔しい場所となった。昨年12月の九州場所で新十両昇進を果たし、2場所連続で勝ち越し。東十両4枚目と自身初の十両上位で臨んだが、初日から3連敗。4日目に初白星を挙げるも、5日目から再び3連敗と苦しんだ。「初めての上位で、対戦相手の体の大きさや圧力が想像以上だった。自分の立ち合いができなかった」と反省。

大翔丸（右）を破る朝乃若

「自分のペースで相撲を取れるようになりたい。いつも腰が高いので低く押し込めるようになりたい」と課題を口にした。

2年ぶりの大阪開催となった春場所。「久しぶりにいい空気が吸えました」と刺激的だった。外出緩和期間中には、部屋関係者らと食事をする機会もあったといい、いいリフレッシュになった。結果は5勝10敗だったが、勝負はこれから。「まずは勝ち越しを目指して、その後は2桁を狙いたい。1日1日いい相撲を取れるようにしたい」と夏場所への意気込みを語った。

若松親方 2期連続副理事

日本相撲協会は3月30日、東京都内で理事会と年寄総会を開き、実質4期目に入った八角理事長（元横綱北勝海）による新体制での職務を決めた。2期連続で副理事に就任した若松親方（元前頭朝乃若）は巡業部副部長、警備本部副部長に引き続き任命。任期は2年。

◆全国高砂部屋後援会募集 八代目高砂部屋がスタート致しました。多くの方に応援して頂けます様、師匠一丸となって精進しています。後援会に入会頂き高砂部屋をますます盛り上げて頂きますようお願い申し上げます。

【小結会員】年会費 1万円 新番付、高砂部屋新聞、カレンダー送付

【関脇会員】年会費 5万円 新番付、高砂部屋新聞、カレンダー送付、記念品の贈呈、浴衣地の配布

【大関会員】年会費 10万円 新番付、高砂部屋新聞、カレンダー送付、記念品の贈呈、浴衣地の配布、たまり席2枚ご招待（年1場所）

【横綱会員】年会費 20万円 新番付、高砂部屋新聞、カレンダー送付、記念品の贈呈、浴衣地の配布、枡席（4名分）ご招待（年1場所）

※その他会員に稽古見学とちゃんこ会食、千秋楽祝賀会、激励会のご案内があります。（ただしコロナ終息後になります）

入会のお問い合わせは下記事務局まで。

後援会事務局 東京都墨田区本所3の5の4 高砂部屋内 担当 松田、木村悟志

takasago@kub.biglobe.ne.jp

※必ず件名を記入して下さい。

☎080—8761—8858

HPURL→http://www2s.biglobe.ne.jp/~wakamatu/

部屋twitterアカウント→@takasagobeya_8

◆新弟子募集 高砂部屋では広く人材を募っております。お近くに有望な若者がおられましたらぜひご紹介下さい。

◎年齢…23歳未満（各競技実績が認められた者は25歳未満）

◎体格…身長167㌢、体重67㌔以上。3月場所受検者で中学卒業見込み者に限り、身長165㌢、体重65㌔以上。

MINORI HOLDINGS
みのりホールディングス株式会社
全力サポート
食を通して気持ちを
届けたい、繋げたい。
みのりホールディングスグループ
酒類販売会社の株式会社 河内屋ジェノス
酒類専門物流会社フィット株式会社
酒類販売業システム会社 株式会社 アール・エヌ・エス
東京都墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル8階

[人と人]
物づくりの原点は人づくり
製鉄設備の総合メンテナンス
鋼板建材加工・販売
プラント建設・製作
製造ラインサービス
技術開発
一人ひとりが活躍出来る会社です
一緒に働ける方を募集しています！
事業所一覧
◎本社
▼千葉事業所（千葉県）
▼塩田事業所（千葉県）
▼新浜事業所（千葉県）
▼松戸事業所（千葉県）
▼水島事業所（岡山県）
▼福山事業所（広島県）
▼九州支店（熊本県）
株式会社 メガテック
千葉県千葉市中央区問屋町1-35ポートサイドタワー26階
TEL 043-302-5201 / FAX 043-302-5207
詳しくはホームページより
（http://www.megatech.jp/）

1985年頃、千秋楽祝勝会で乾杯する山下さん（中央）

後援会最古参 高砂一筋80年

川崎市 山下秀男さん（85）

東富士との出会い

昭和11年、東京生まれの山下さん（元三五紙業（株）代表取締役）。お父様が営む会社とのご縁があり幼少期から高砂部屋を訪れ、以来80年の長きに渡りご支援をいただいております。

「戦時下で本場所が開催出来なかった当時、東京から親父の会社の工場があった山梨へ東富士関も疎開。子供だった私を『坊や』と可愛がってくれて、ドラム缶の五右衛門風呂に一緒に入ったりしてね」。今も鮮明にその頃の記憶を朗々と語って下さった。

その山梨での疎開中の幼なじみが富士錦。「章さんとは同級生。田舎の祭礼村相撲で共に相撲を取ったりしてね。部屋の熱心な勧誘で入門したんですよ。昭和39年名古屋場所、彼が幕内優勝した時は、夜行列車で現地へ祝いに駆けつけた（笑）」

高砂人

高砂部屋が順風な時も困難な状況でも、千秋楽祝勝会や引退相撲等、常に欠かさず出席され、四代目師匠（横綱前田山）から当代まで実に五代もの間、高砂一筋で激励くださる山下さん。コロナ禍の現在はテレビで大相撲中継開始から幕下以下の勝敗もチェック。「若い頃は横綱朝潮、一門の大関松登、房錦らと遊び、時に高見山や富士櫻の験直しに付き合い、小錦に水戸泉…」。その一つ一つ我が部屋の歴史であり、生き証人であります。益々お元気で今後も見守って頂きたく思います。【利樹之丞】

◆40代横綱東富士欽壱 大正10年、東京都台東区生まれ。昭和11年、一門の富士ケ根部屋入門。その後高砂部屋へ。24年横綱昇進、初の東京出身で江戸っ子横綱と話題に。巨体を生かした怒涛の寄りで優勝6回。29年引退後は力士時代から気の合った力道山とプロレス界で活躍。48年に51歳で没。

三重県出身4人組 相撲人生の始まりは同じ志を持つ友が集う道場だった

朝志雄 朝玉勢 志友館物語 朝走雷 朝氣龍

小林館長夢叶えた 玉木と村田

三重県出身の朝玉勢、朝志雄、朝走雷、朝氣龍。この4人は共に「志友館相撲道場」の練習生であった。

志友館は多くの大相撲力士や強豪校の選手を輩出してきた名門である。館長の小林利博さんは、三重高、中京大の相撲部で活躍。卒業後はスポーツ用品店を営みながら、母校相撲部の外部コーチとして、生徒の指導、育成にあたっていた。それから三重高相撲部の廃部をきっかけに志摩市内に移住。1999年、50歳にして志友館相撲道場を創立した。道場名には同じ「志」を持つ「友」が集う場にしたいという願いが込められている。

志友館創立にあたり、三重高相撲部の教え子で、伊勢市在住の玉木新一さんをコーチに任命した。玉木さんは当時、幼稚園年中だった息子の一嗣麿を道場に入れた。のちの朝玉勢である。

一方、山と海に囲まれ、自然豊かな志摩市内ですくすくと育つ村田亮少年。小学生となり、いつもケンカをしていた幼なじみが「亮にはケンカで負けたくない」と近場にあった相撲道場の練習生となった。それを知った亮少年は「僕も負けたくない」と彼の後を追い、志友館に入門したのであった。のちの朝志雄である。

相撲道場で出会った玉木と村田は1歳違い。互いに意気投合し、色々な事を学びながら稽古に励み、数々の相撲大会で入賞する程の実力をつけていった。

かなり前の話だが、玉木の父・新一さんが近大相撲部時代に高砂部屋へ出稽古に行き、世話人の總登と出会い家族ぐるみの付き合いをする仲になった。その縁で小学生の2人は名古屋場所中、高砂部屋の宿舎へ遊びに行った事がある。村田少年は初めての相撲部屋で、優しく声を掛けてくれた朝赤龍と一緒にスイカを食べた事が良い思い出となった。

ちなみに、朝志雄の談話によると、玉木少年が周囲の人に「好きな力士は？」と聞かれ「朝赤龍関です」と答えていたそうである。

小林館長は「志友館創立10年以内に全国を獲る」と口癖のように周囲に話していた。稽古中の指導は厳しく、普段は友達のように接してくれる優しい恩師。そして、2人が中学生に上がる頃には全国制覇も夢ではない程のレベルになっていた。

別の高校 大学を経て再び同門

館長はさらに強化させるべく、遠方の生徒を1つの中学校に通わせようと考えた。伊勢から週に3回ほど道場に通っていた玉木は、共に稽古を積んだ3兄弟の自宅に下宿させてもらう事になった。この3兄弟の1人は、幼い頃に村田とよくケンカしていた少年である。

玉木が中学3年、村田が中学2年の時に、最大のチャンスが訪れた。全国都道府県中学生相撲選手権大会の個人戦。順調に勝ち上がっていた玉木と村田が準決勝で対戦した。結果は玉木の勝ち。そして決勝戦も見事に勝利して、優勝という栄冠に輝いた。村田も健闘し、三位入賞を果たした。小林館長は公言通り、10年目、還暦を迎える年に優勝者を輩出する事ができたのである。

その後、中学を卒業した玉木と村田は別々の高校、大学に進学し、相撲道に磨きをかけた。くしくも2人共、熱心な若松親方に誘われ高砂部屋に入門し、再びチームメートとなった。志友館時代から良き友、良きライバルであるが、大相撲の世界での戦いはまだこれから。静かに闘志を燃やす彼らに乞うご期待。

相撲道場「志友館」出身の左から朝志雄、朝氣龍、朝玉勢、朝走雷

悩みながら挑戦 吉田兄弟の夢

志摩市出身の吉田兄弟は男子2人、女子2人の4人兄弟。兄の雷希と弟の桐龍は4歳違いである。兄は真面目でしっかり者。弟は人なつっこく少々お調子者だが、憎めない人柄である。

兄の雷希は小学1年生の時に父の勧めで志友館に入門し相撲を始めた。真面目な彼は小林館長やコーチの指導の下、心身共に鍛えられ、小学6年生の時に全国大会ベスト8に入った。また、足が速く走る事が大好きだったため、小学4年生から陸上のクラブチームにも加入していた。弟の桐龍も小学1年生の頃、兄の影響で志友館に入り、楽しく相撲を習っていた。

雷希は中学生になると陸上に力を入れるようになり、志友館を退会した。桐龍も大好きな兄と同じく道場を辞めて陸上を始めた。雷希の快足っぷりは本格化し、中学の陸上部ではリレーの選手となり、全中（全日本中学校陸上競技選手権大会）のリレー種目で鮮やかな優勝を飾ったのである。

その後は静岡県の高校に進学し、そして岐阜経済大では陸上をやりながら中学校の教員を目指していた。しかし、大学での陸上の成績は思うように伸びず、見えない壁にぶつかってしまったのである。同時に教員になる夢までも気持ちに迷いが生じていた。「もし陸上の結果が出せず、実績がないまま指導者になっていいのだろうか。自分が生徒なら俺みたいな情けない先生に教えてもらいたくない。果たしてこれで良いのか」と何度も自問自答を繰り返し、今後の進路で悩むようになっていた。そして雷希は大きな決断をした。教員になる夢を応援してくれていた両親に頭を下げ、大学2年で中退したのである。

兄の問いに弟「プロの世界は…」

一方、桐龍は岐阜農林高に進学し、相撲部に所属していた。兄は大学を辞めてから弟と一緒にアパートを借りて同居。パチンコ店でのアルバイトで生計を立てていた。その頃から桐龍の試合に同行するようになり、何でも話せる身内ならではのアドバイスができた。桐龍の相撲を見てるうちに雷希の相撲魂が再燃し、先の事を考えるようになった。刺激も何もない生活に嫌気が差し、かつてのチームメート達は強豪大で活躍しており、焦りも感じていたのである。「そうだ力士になろう」。決して唐突ではない。次第にプロの道を目指すようになっていく。

その頃、同じく進路に悩んでいた弟に兄が声をかけた。「なぁ、桐龍よ。兄ちゃんと一緒に力士にならないか。お前が大学に行ったとしても、きちんと勉学に励めるのか。ダラダラと4年間を過ごして時間の無駄遣いになるのが関の山。それなら一緒に大相撲の道に進み、頑張ってみないか」

兄の問いに弟は答えた。

「兄ちゃん、プロの世界はそんなに簡単じゃないって。俺達じゃ通用しないって。確かに大学行っても何をしていいか分からないけどさ…」

桐龍には何か大きな事をやってみたいという想いがあったので、兄の熱意に理解はできた。そして2人は大相撲の世界に飛び込む決意をしたのである。

志友館の先輩で幼い頃から可愛がってもらい、兄のような存在だった朝志雄に相談し、彼の所属する高砂部屋に入門した。兄の雷希は走る事が大好きなのでしこ名に「走」という字を入れ「朝走雷」と命名。弟の桐龍は朝桐龍にしようとしたが、桐という字を変えたかった。そこで兄弟そろって大好きな人気ミュージシャン「ハジ→」さんに手紙を書き、しこ名の相談をした所「氣」という字に変えたらどうかなという有り難い返事を戴き「朝氣龍」になった。

朝走雷と朝氣龍、吉田兄弟の挑戦はまだ始まったばかり。今後の2人の活躍を大いに期待したい。【木村朝之助】

「志友館」出身4人組

朝玉勢 大幸（あさざょくせい・たいこう）
本名 玉木一嗣磨（たまき・かづま）。1993年（平5）5月29日、三重・伊勢市出身。近大付属高―近大。近大相撲部主将。16年初場所初土俵。最高位は東十両12枚目。序ノ口優勝1回、序二段優勝1回。180㌢、145㌔。
しこ名歴 朝玉木→玉木→朝玉勢→朝玉勢 大幸
趣味 食べる事、寝る事、野球観戦。
今後の目標 関取に戻れるように頑張ります。

朝志雄 亮賀（あさしゆう・りょうが）
本名 村田亮（むらた・りょう）。1994年（平6）8月8日、三重・志摩市出身。金沢市立工業高―東洋大。東洋大相撲部主将。17年春場所初土俵。最高位は西十両13枚目。序ノ口優勝1回。182㌢、163㌔。
しこ名歴 村田→朝志雄 亮賀
趣味 音楽鑑賞、映画観賞、神社仏閣巡り。
今後の目標 弟の朝氣龍には負けたくないです。同期の長内、石崎に早く追いつき追い越す気持ちで頑張ります。

朝走雷 雷希（あさそうらい・らいき）
本名 吉田雷希（よしだ・らいき）。1998年（平10）11月19日、三重志摩市出身。東海大附属静岡翔洋高。全中リレー優勝。100㍍自己ベスト10秒73。21年春場所初土俵。最高位は西序二段8枚目。167㌢、86㌔。
趣味 野球、スポーツ観戦。

朝氣龍（あさきりゅう・りゅう）
本名 吉田桐龍（よしだ・きりゅう）。2002年（平14）6月22日、三重志摩市出身。岐阜農林高。21年春場所初土俵。最高位は西序二段9枚目。168㌢、84㌔。
趣味 音楽鑑賞、釣り、素潜り。
今後の目標 まずは体重を増やし、しっかり稽古して幕下に上がりたいです。

高砂雑話 ～その5 相撲茶屋1番高砂家～

伝統ある相撲茶屋「高砂家」

毛弘子氏の経営です。

梅ケ谷と共に明治相撲界の黄金期を築き国技館建設にまで漕ぎ着けた最大の功労者である常陸山は水戸の士族の出で、郷土の先輩出羽ノ海運右衛門の元へ入門します。当時、師匠の出羽ノ海は現役でありながら年寄も兼ねる二枚鑑札でしたが、部屋を構えるほどの資力はなかったため稽古は弟子ともども高砂部屋で行っていました。常陸山が初土俵を踏んだ明治24年当時は、初代高砂が現在の理事長にあたる取締として協会を取り仕切っていた頃で、初代高砂の稽古場で力を付け横綱まで上り詰め、やがて出羽ノ海部屋として一大勢力を誇るようになっていきます。

明治32年、高砂部屋の元力士が相撲茶屋を始めるにあたって、屋号を師匠の名前をもらって「高砂家」と名付け、顧客には伊藤博文をはじめとする政府高官や財界、学会の重鎮がいたそうですが、そのお茶屋を常陸山の女将さんが明治39年春に2代目として譲り受け、現在に至っています。市毛弘子氏は、常陸山の孫にあたり、明治32年の創設時から数えると5代目になります。常陸山には「常陸山会」という各界の名士が名を連ねる個人後援会もありましたが、百人近くの弟子を抱え、宵越しの金を持たない太っ腹の性格のため部屋の台所事情は厳しかったそうです。そこで、お茶屋を経営する女将さんの手腕が部屋経営を支え、また艶福家でも知られた常陸山は「あなたの子どもです」と言われるも「よしわかった」と受け入れ認知した子が数知れず、仕送りも欠かさなかったそうです。さらに驚くことに、常陸山没後も市毛家では関わりのあった女性が困窮していたという事には援助の手を差し伸べていたといいます。

120年余りに亘り、盛衰を最前線で見守りながら大相撲を支えてきたのが、伝統ある相撲茶屋「高砂家」です。【元・一ノ矢 松田哲博】

国技館正面玄関左側には、現在正式には相撲案内所といわれるお茶屋さんが軒を連ね、本場所の相撲情緒を盛り上げています。20軒あるお茶屋さんの1番が「高砂家」です。時折、高砂部屋が経営しているのですかと聞かれることがありますが、明治時代に角聖と尊称された第19代横綱常陸山谷右衛門の子孫にあたる市毛弘子氏の祖父にあたります。

梅ケ谷と共に明治相撲界の黄金期を築き国技館建設にまで漕ぎ着けた最大の功労者である常陸山は水戸の士族の出で、郷土の先輩出羽ノ海運右衛門の元へ入門します。当時、師匠の出羽ノ海は現役でありながら年寄も兼ねる二枚鑑札でしたが、部屋を構えるほどの資力はなかったため稽古は弟子ともども高砂部屋で行っていました。常陸山が初土俵を踏んだ明治24年当時は、初代高砂が現在の理事長にあたる取締として協会を取り仕切っていた頃で、初代高砂の稽古場で力を付け横綱まで上り詰め、やがて出羽ノ海部屋として一大勢力を誇るようになっていきます。

明治32年、高砂部屋の元力士が相撲茶屋を始めるにあたって、屋号を師匠の名前をもらって「高砂家」と名付け、顧客には伊藤博文をはじめとする政府高官や財界、学会の重鎮がいたそうですが、そのお茶屋を常陸山の女将さんが明治39年春に2代目として譲り受け、現在に至っています。市毛弘子氏は、常陸山の孫にあたり、明治32年の創設時から数えると5代目になります。常陸山には「常陸山会」という各界の名士が名を連ねる個人後援会もありましたが、百人近くの弟子を抱え、宵越しの金を持たない太っ腹の性格のため部屋の台所事情は厳しかったそうです。そこで、お茶屋を経営する女将さんの手腕が部屋経営を支え、また艶福家でも知られた常陸山は「あなたの子どもです」と言われるも「よしわかった」と受け入れ認知した子が数知れず、仕送りも欠かさなかったそうです。さらに驚くことに、常陸山没後も市毛家では関わりのあった女性が困窮していたという事には援助の手を差し伸べていたといいます。

120年余りに亘り、盛衰を最前線で見守りながら大相撲を支えてきたのが、伝統ある相撲茶屋「高砂家」です。【元・一ノ矢 松田哲博】

朝志雄からご報告

以前より膝の痛みに悩まされており、昨年の十一月場所中に悪化してしまいました。関取に復帰するためにも師匠とよく話し合い、2月中旬に右膝の手術をしました。当面はリハビリやトレーニングを積み、怪我をしっかりと治してから再出場致します。療養中も先の目標を定め、後輩力士にアドバイスをしたり、私なりにサポートして参ります。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

差し入れ御礼

◆2月
宮城・塩竈市 足立山樹様 どら焼き
東京・大田区 石渡建司様 塩もみく
岡元毅様 米
茨城・筑西市 株式会社若東龍様 力士みそ
兵庫・神戸市 坂田憲重様 タオル、お菓子
東京・足立区 深井様 飲料
鹿児島・徳之島町 澤和一様 タンカン
石川・七尾市 澤田芳樹様 水ようかん
福岡・福岡市 柴田裕也様、柴田彩音様 ちゃんぽん麺、パン、お菓子
茨城・坂東市 鶴見幸代様 スパム、素面、お菓子
埼玉・狭山市 長倉芳昭様 たまご
神奈川・横浜市 林雅和様 豚ロース肉
宮崎・延岡市 南裕之様 干物
北海道・函館市 鹿郷生様 真鱈
北海道・札幌市 （有）すずきの水産様 魚

◆3月
富山・富山市 青木仁様 ドーナツ
愛知・稲沢市 浅井卓様 味心その田様 たまご
大阪・大阪市 東幸樹様 瓶ビール
鹿児島・徳之島町 荒堀浩文様 じゃがいも
大阪・池田市 石川正様 清酒
大阪・大阪市 石崎満様 甘夏
大阪・四條畷市 たこ焼き、いちご、柿の葉寿司、プリン、唐揚げ
石田修様 米一00㌔、ブリ
泉本商店様 若こぼう
伊藤美加様 米
井藤青則様 牛肉
乾三郎様 飲料
大熊浩様 飲料
大阪・東大阪市 豚まん
大阪相撲甚句会様 野菜
大嶋工務店様 お菓子
兵庫・大嶋様 海苔
愛知・名古屋市 おがわ株式会社様 麺
恩地食品株式会社様 飲料
大阪・枚方市 柏木行康様、弘康様 米
大阪・大阪市 勝田好広様 牛肉
株式会社伊藤園様 キムチ、韓国海苔
株式会社伊藤園関西営業本部長 越智和明様 お茶
大阪・大阪市 株式会社メガテック 長尾繁樹 お茶
千葉・千葉市 キャベツ、鶏肉、牛肉、スティーキ肉
（株）ホーマフーズ様 堀川学様 どら焼き
福岡・直方市 （株）もち吉 森田長吉様 力水
大阪・大阪市 久成寺様
お惣菜、お菓子、シュークリーム、エクレアショートケーキ
コアレックス信栄株式会社様
静岡・富士市 ティッシュ、トイレットペーパー、ハンドタオル
兵庫・神戸市 坂田恵重様 お茶
鹿児島・鹿児島市 真晃装建様、大和総建様 お茶

奈良・奈良市 杉下定巳様 清酒、コーラ
大阪・大阪市 曹恵美様、賢太様 キムチ、カップ麺
兵庫・尼崎市 株式会社メガテック 焼酎
茨城・鹿嶋市 髙杉佳幸様 納豆
富山・富山市 高辻浩司様 お菓子
佐賀・佐賀市 田中よよい様、大久保暁美様 お菓子
福岡・福岡市 塚本一明様 お茶
大阪・大阪市 椿原健一様 フルーツトマト
寺本祐三子様 お茶
大阪・大阪市 中尾徳弘様、佑平様 マロニー
兵庫・加古川市 ホルモン、牛肉
福岡・福岡市 仲島純香様 パン
福岡・糸島市 中村友子様 生カキ
大阪・大阪市 なごみ心 花の図様 冷凍食品
大阪・大阪市 奈良崎貴之様 瓶ビール
大阪・門真市 飲料 カップ麺
大阪・堺市 日本相撲協会東西会様 鶏肉
日本通運 松本孝一様、倉橋恒太郎様 焼酎
富山・富山市 長谷川敏博様 魚
富山・氷見市 浜井祐雄様 魚
大阪・大阪市 浜中正博様 魚
大阪・東大阪市 豚肉、ステーキ、ワイン
大阪・大阪市 藤川美樹様 みかん、パン
大阪・大阪市 藤澤宏樹様 栄養ドリンク
兵庫・西宮市 古田由紀様 お菓子
大阪・大阪市 ホテルニューオータニ大阪 お煎餅
大阪・大阪市 細山雅利様 ウイスキー

大阪・大阪市 松下和雄様 缶ビール、缶チューハイ、バナナ
長野・中野市 松島栄太郎様 えのき茸
島根・出雲市 三戸萌様 食品
緑川あかり様 ポテトチップス
村井孝郎様 お菓子
大阪・大阪市 村上栄次様 お茶、お菓子
石川・金沢市 浜松餃子
大阪・大阪市 山下俊史様 魚
大阪・大阪市 ヨコタモーターズ様 清酒
大分・大分市 吉岡賢彰様 お米
茨城・取手市 吉田会計事務所 納豆
立命館スポーツフェロー 田中様 いちご
大阪・大阪市 山下和寿様 お煎餅
大阪・大阪市 琉大琉友会 飲料 キムチ、ドーナツ
大阪・大阪市 渡辺志津子様 リアルゴールド、オレンジジュース、かりんとう
新潟・佐渡市 居酒屋ゆっ子様 かきもち
愛知・刈谷市 近藤弘行様 せとか、ウナギ
東京・足立区 深澤正様 水、お茶、スポーツ飲料
鹿児島・徳之島町 澤和一様 じゃがいも
千葉・木更津市 神宗男様 甘夏
高知・室戸市 長岡友久様 ブリ
東京・墨田区 本所電器（株）杉本浴昭様 ブタメン
北海道・札幌市 （有）月上相撲同好会一同様 勝越し祝い 焼菓子
東京・江東区 菊池悠様